

謹啓

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

能登半島地震が発生して早いもので一年が過ぎようとしております。この間、国内・海外の皆様からたくさん義援金を届けていただいております。皆様からの心温まるご支援とご声援が蔵元に取り再建に向けた熱い思いに對して非常に心強く、大きな後押しとなっております。被災した蔵元に代わりまして心からお礼申し上げます。

能登の蔵元は、この一年間、県外の蔵元さんの助けや県内の組合員の協力を得て、救出した「原料米」を使用した酒造り、貯蔵酒の加工、びん詰作業を終えてようやく商品化するまでになっており、この冬も引き続き県内外の蔵元の協力を得て酒造りを始めております。

被災蔵の現状を見ますと、相当な被害を受けながらも、珠洲市の宗玄酒造（宗玄）と能登町の数馬酒造（竹葉）が何とか製造再開にこぎつけました。全壊した酒蔵や住居の片付けは、珠洲市の櫻田酒造（初桜）と能登町の松波酒造（大江山）、鶴野酒造店（谷泉）の三蔵の建物の解体・撤去がようやく終了しましたが、輪島市内の酒蔵は、九月二十一日の集中豪雨により大規模な崖崩れ、道路の崩落、家屋の流出などが発生したことが影響して復旧・復興に向けた作業は大幅に遅れる状況となっております。

このような現状ですが、各蔵元は、全国の皆様方からいただいた温かいご支援と激励を糧に何とか再建に向けて日々奮闘しております。

なお、皆様から頂戴いたしました見舞金は、一月以降定期的に、事業資金の一助として被災した奥能登の蔵元に届けており、今後も皆様方のご芳志に沿うよう全額配分させていただく所存でございます。

まだまだ復興には長い時間を要しますが、全国・海外の皆様のご温かいご支援をお願いするとともに、被災した蔵元の一刻も早い復旧・再建に向け、石川県酒造組合連合会傘下の組合員が相互に連帯・協力して、一丸となって取り組む所存でございます。

皆様方には引き続き、ご支援・ご声援を賜わりますようお願い申し上げます。

間もなく新しい年を迎えます。皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

謹白

令和六年十二月二十三日

石川県酒造組合連合会会長 車多 一成

鳳珠酒造組合組合長 櫻田 博克